伊予市における コンパクトシティ実現にあたっての まちづくりの課題整理

以下の４項目から問題点や課題を抽出し、
伊予市の都市づくりにおける６つのテーマで
課題と考えられる対策を整理しました。

・現況調査からみえる課題
・上位関連計画に掲げられているまちづくりの課題
・市民アンケートからみえる課題
・庁内関係各課へのヒアリングで挙がった課題

1.人口

①市街地の人口維持

課題
・本市の人口は減少傾向
・購買力低下による地域経済の衰退
・生活サービスや公共交通のサービス水準低下
・自主財源低下による財政悪化

対策
・生活サービス施設が充実した魅力ある市街地づくり
・まちなか居住の積極的な促進

② 少子高齢化社会に対応した都市づくりの推進

課題
・人口減少とともに少子高齢化も進行
・将来的な生産年齢人口の減少・財政の悪化
・高齢者に対応する生活サービス施設の不足

対策
・生活サービス施設や公共交通サービスを高齢者が適切に利用できる環境を整備する必要がある
・ユニバーサルデザインに配慮した施設整備

③ 定住促進対策の推進

課題
・若者が松山市などの近隣市町へ流出
・市内の事業所数の減少

対策
・UIJターンの促進などの定住促進

2.土地利用

①市街地の再構築

課題
・人口減少や市街地の外延化に伴い、都市の低密度化が進行
・都市施設維持への多大な投資が必要
・自動車依存度の上昇に伴う公共交通の衰退
・環境負荷の増大
・経済活動の衰退

対策
・拡大した低密度型の都市から駅を中心としたコンパクトな都市への転換

② 魅力ある商業空間の形成（中心市街地の活性化）

課題
・国道56号沿線の大規模商業施設の立地により、郡中地域の商店街などが衰退
・大規模商業施設が撤退の場合、生活利便性が著しく低下する懸念
・大規模商業施設は自動車利用がメインで高齢者などが利用しにくい

対策
・利便性の高い郊外の大規模商業施設は維持しつつ、駅を中心とした地域に生活サービス施設を誘導
・まちなかへの定住・創業を促し、地域密着型の商店街の再生を図る

③ 高質な住宅地の形成

課題
・灘町や湊町などで空き家や低利用な土地が発生
・中心部の木造住宅は耐震化が進まず地震による倒壊が懸念
・老朽建築物による景観の連続性低下・居住環境の悪化

対策
・空き家への居住を促すほか、市街地の面的整備や耐震化の促進などによる安全で快適な住宅地づくり
・低利用な土地への生活に身近な都市機能の整備・宅地化などの有効利用を検討

④ 歴史・文化や観光資源を活かしたまちづくり

課題
・郡中地区には、伝統的な構造を有する町屋が多く残されているが、一方では空き家や空き店舗が発生
・空き家などは適切な維持管理ができていないことが多く、老朽化が進行し、歴史的まちなみの連続性の低下

対策
・空き家の適切な維持管理や有効活用
・まちなみや、市内に多数存在する埋蔵文化財などの歴史・文化財の保全と、市街地の活性化をバランス良く行う

3.都市施設

① 都市施設の維持・誘導

課題
・都市施設（公共施設）は老朽化が進行している
・駅を中心とした地域に医療施設や社会福祉施設の整備が求められている
・財政、経済性、市民ニーズに配慮した、効率的な施設維持、誘導が求められている
・総合病院を有しておらず、市内の医療施設の診療科目もばらついている
・医療費、福祉施設利用費増加などにより高齢者の経済的負担が増加
・社会保障費用の増加による財政負担の増加
・幼保園の入所者は定員を上回る施設と下回る施設が混在
・生活に身近な医療施設の維持及び誘導を図るほか、松山医療圏で連携した救急医療体制の確立・維持が必要

対策
・歩いて暮らせるまちづくりを進めることで、健康寿命の延伸を図る
・健康づくりの場となる施設の維持・拡充を検討する必要がある
・子育て世代の定住促進及び流出抑制に努め、児童数の確保を図る必要がある
・社会教育施設へのアクセスは自動車が中心となり、駐車場不足が発生していることから、効率的な駐車場整備が求められている

4.交通

① 交通結節点及び周辺地域の拠点性向上

課題
・公共交通の利用者数は年々減少傾向
・鉄道のサービス水準低下や駅周辺施設の施設利用者減少の懸念

対策
・交通結節点となる鉄道駅の機能の維持、強化
・公共交通の利便性が高い地域に都市機能を集約させ、生活利便性を向上させる

② 公共交通機関の維持・充実

課題
・JR予讃線の利用者数は減少傾向
・コミュニティバス『あいくる』の利用者は低調に推移
・郊外の地域で公共交通サービス水準が低下し、高齢者などの移動利便性の低下
・利用者の少ない公共交通維持のための財政負担の増加

対策
・中心部…利便性の高い公共交通の利便性を維持し利便性を確保
・郊外地域…効率的で効果的なかたちで公共交通を維持する

5.都市防災

① 防災・減災に配慮したまちづくりの推進

課題
・灘町や湊町は狭あい道路が多く、緊急車両が通行できない箇所がある
・建物の耐震化が進んでおらず、地震などの災害が発生した場合大きな被害が懸念
・市内を流れる河川の増水や、ため池決壊による水害の危険性
・谷上山などの山沿の地域には土砂災害のハザード区域が指定されており、区域内の居住者もいる

対策
・市街地の面的な整備や災害に強い都市基盤や防災施設の充実、避難路の確保
・河川の適切な維持管理により安全性を確保
・土砂災害ハザード区域内から可能な範囲で転居を促す
・ハザードマップの周知や、砂防施設の整備

6.財政

① 財政の健全化

課題
・人口減少や労働人口の減少により、税収が低下
・バス利用者の減少による路線維持のための財政負担が増加
・公共施設の老朽化による維持更新費用の増加
・高齢化に伴う社会保障費用の増加
・行政が提供するサービスの低下や増税による市民の経済的負担、生活利便性の低下の恐れ

対策
・コンパクトで魅力ある都市を形成することで、居住人口の増加、流出人口の抑制を図る
・高齢者の健康づくりに適した都市づくりにより社会保障費用を抑制する